

⑩ 日本国特許庁 (JP)  
 ⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開  
 昭56—32218

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
 B 65 B 57/00

識別記号

厅内整理番号  
 6443—3E

⑭ 公開 昭和56年(1981)4月1日

発明の数 2  
 審査請求 有

(全 8 頁)

⑮ 自動包装機に於けるフィルムマーク合わせの  
 検出基準時期設定方法

⑯ 発明者 錚久清一

高槻市登町174番地

⑰ 特 願 昭54—129113  
 ⑱ 出 願 昭50(1975)11月1日  
 ⑲ 特 願 昭50—131873の分割

⑰ 出願人 株式会社オーエム製作所

大阪市北区梅田1丁目12番17号

⑲ 代理人 弁理士 江原省吾

## 明細書

## 1. 発明の名称

自動包装機に於けるフィルムマーク合わせの  
 検出基準時期設定方法

## 2. 技術分類の範囲

(1) 所定ピッチで切り替し用マークを印刷してなる包装部材の繰り出し経路。マーク検出部と、可変速度繰り出しローラーと、定速カッターを備え、包装部材のマークピッチで切断周期を合わせさせてなる定速カッター部の回転に比例してペルスを発生させ、この定速カッターのノコギ部分のペルス群を計数し、このペルス群を繰り替える。繰り替えたとき、前記マーク検出部がマークを検出したとき、前記計数値が繰り替えたとき、前記計数値を判定して可変速度織り出しローラーによる包装部材の繰り出し速度を自動的に修正する自動包装機において、最初にカッターの切断刀と包装部材のマークとを順序合わせた状態で始動させ、マーク検出部が最初にマークを検出したとき、前記定速カッター部

定速カッター部の回転に比例して発生しているペルスの計数を開始すると共に、この時点を以後のマーク検出基準時期とし、例えば零目以降のマークを前記マーク検出部が検出したとき、この計数値が上記マーク検出基準時期に對して遅れれば遅れか、遅れ始めれば遅れとして可変速度織り出しローラーによる包装部材の繰り替える。自動的に修正するようになしたことと特徴とするフィルムマーク合わせの検出基準時期設定方法。

(2) 所定ピッチで切り替し用マークを印刷してなる包装部材の繰り出し経路。マーク検出部と、可変速度織り出しローラーと、定速カッターを備え、包装部材のマークピッチで切断周期を合わせさせてなる定速カッター部の回転に比例してペルスを発生させ、この定速カッターのノコギ部分のペルス群を計数し、このペルス群を繰り替える。繰り替えたとき、前記マーク検出部がマークを検出したとき、前記計数値が繰り替えたとき、前記計数値を判定して可変速度織り替える。繰り替えたとき、前記計数値が繰り替えたとき、前記計数値を判定して可変速度織り替える。

出し速度を自動的に修正するようになし、更に最初のマーク検出信号によって設定したマーク検出基準時間に基づいて補正スイッチ等により補正できるようにしたから、只つた既断ピアチの包装紙の取り替え作業時に従来の用ひ時間が必要としない。又どの様なマークピッチの包装紙であつても、始動開始時、包装紙マークとカッターを合わせる作業の手で、マークとマーク検出器を合わせることなく、自動し操作することが可能であり、強制取り付けの自由度が増す。更にマーク検出基準時間カウンタのカウント数を増減することによって変更できる補正精度を提供したから操作を停止することなく、マークに対するカッターでの切削位置を任意に設定できる。

更に本発明は最初にマーク検出基準時間を設定するときには、包装紙を運転状態にして設定しているので、フィルムのタルミや、ギヤのペタクタクシユや、ベルト又はテニーンのタルミ等による既定誤差が介入することなく、始つて

(25)

特開昭58-32218(7)  
、正確かつ、高精度の作業を行わせることができる。

#### 図1 図面の簡単な説明

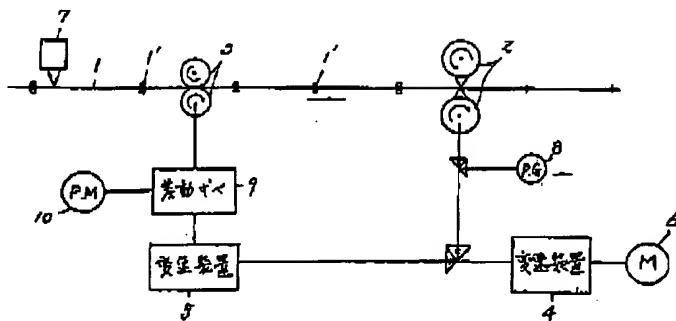
第1図は本発明の機械構成の底略図、第2図はその取扱説明、第3図はその起動回路、第4図は電気回路の該形図である。

(1)・・包装紙材、(2)・・マーク、(3)・・寫透カッター、(3')・・可変速度組り出しローラー、(4)(4')・・変速装置、(5)・・モーター、(6)・・光電スイッチ、(6')・・ペルス発送器、(8)・・起動ギヤ、(9)・・ペイロットモーター、(10)・・計数回路、(11)・・マーク検出回路、(12)・・判定制御回路。

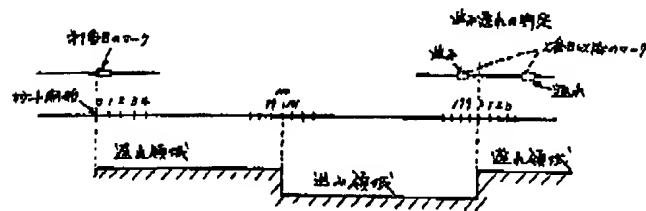
特許出願人 株式会社 オーエム製作所  
代 理 人 江 川 一 雄

(26)

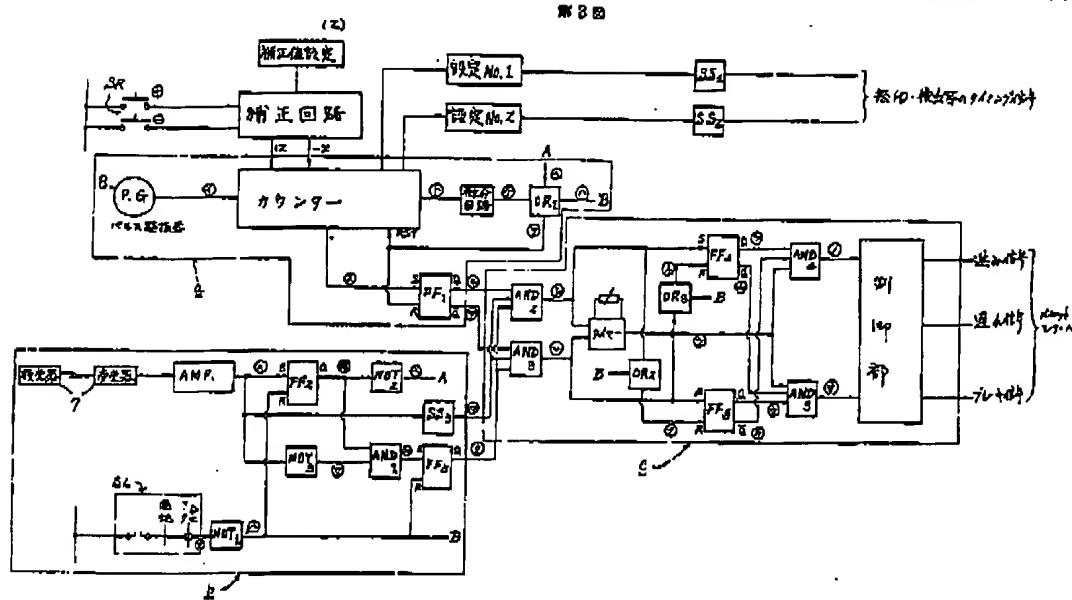
第1図



第2図



1970226-32218(8)



第4回

→7合=実際投入		$I_{1A}$	$I_{1B}$	$I_{1C}$	$I_{1D}$	$I_{1E}$	$I_{1F}$
P.G.出力②							
SL.出力③							
NOT <sub>1</sub> .出力④							
AMP.出力⑤							
FF <sub>1</sub> .出力⑥							
NOT <sub>2</sub> .出力⑦							
AND <sub>1</sub> .出力⑧							
AND <sub>2</sub> .出力⑨							
FF <sub>2</sub> .出力⑩							
AND <sub>3</sub> .出力⑪							
AND <sub>4</sub> .出力⑫							
FF <sub>3</sub> .出力⑬							
AND <sub>5</sub> .出力⑭							
AND <sub>6</sub> .出力⑮							
FF <sub>4</sub> .出力⑯							
AND <sub>7</sub> .出力⑰							
OR <sub>1</sub> .出力⑱							
NOT <sub>3</sub> .出力⑲							
FF <sub>5</sub> .出力⑳							
AND <sub>8</sub> .出力㉑							
AND <sub>9</sub> .出力㉒							
FF <sub>6</sub> .出力㉓							
AND <sub>10</sub> .出力㉔							
AND <sub>11</sub> .出力㉕							
FF <sub>7</sub> .出力㉖							
AND <sub>12</sub> .出力㉗							
AND <sub>13</sub> .出力㉘							
FF <sub>8</sub> .出力㉙							
AND <sub>14</sub> .出力㉚							
AND <sub>15</sub> .出力㉛							
FF <sub>9</sub> .出力㉜							
AND <sub>16</sub> .出力㉝							
AND <sub>17</sub> .出力㉞							